

New Sophia Hospital

ニューソフィアホスピタル

福岡歯科大学医科歯科総合病院

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号 TEL092(801)0411

No.37
2025.01



病院の理念

私たちは、地域と社会、臨床と研究、医科と歯科、過去と未来を「つなぐ病院」として、豊かな人間性を備えた有能な医療人を育成し、地域の皆様に信頼され続ける病院をめざします。

病院の基本方針

1. 患者中心の医療
 - ・患者の皆様の人格を尊重した優しさのある医療を提供し、地域の信頼に応えます。
2. 安全・安心な高度医療の提供
 - ・医科歯科総合病院として多職種連が協働し、安全・安心で高度な医療を推進します。
3. 地域医療への貢献
 - ・地域の医療・介護・福祉施設と連携し、地域の皆様の健康維持に努めます。
4. 全人的医療を実践できる医療人の育成
 - ・医療人としての誇りを持ち、患者さんの身になって考えることのできる医療人の育成に努めます。

副院長年頭のご挨拶

福岡歯科大学医科歯科総合病院
副院長 都築 尊



謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本は世界に類を見ない超高齢社会と言われていきます。それに伴って、歯を部分的に、または全部失ってしまった方が大変多くいらっしゃいます。歯を失うと入れ歯を装着しますが、昔は職人さんがツゲの木を削って入れ歯を作っていたと伝えられています（写真左）。この「木を削って作る入れ歯」の技術は、明治時代まで残っていたそうです。時は変わって現代では、患者さんの歯型を採得して模型を作り、ぴったり合う入れ歯を作ることができますのでご安心ください（写真右）。また、部分入れ歯は金属のバネが見えてしまい、入れ歯を使っていることが周囲にわかってしまうので、敬遠されがちです。

しかし近年では歯科材料が進化し、バネが見えにくい入れ歯を作ることができますので、どうぞお気軽にご相談ください。

高齢になると気になるのが「認知症」ではないでしょうか。認知症と関連がある因子のひとつに、「孤独」があります。入れ歯が合わないと食事が楽しくなくなります。そうなるとお友達と外出したり、一緒に食事することに尻込みしてしまい、社会的に孤立してしまいます。その孤独感が認知症のリスクを高めることになってしまいます。どうかしっかりと食べられる口を作って、周りの人達と接する機会を作って、楽しい食生活を送ってほしいと思います。そうすることが認知症のリスクを下げることに繋がります。

私たちは、お口を通して全身の健康を守る「口腔医学」を推進しています。おしゃべりしながら楽しく食べて、満足度の高い生活を送っていただきたいと思います。本年もそのお手伝いをしますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



木床義歯



現代の義歯

写真出典：木床義歯の文化史 世界に先駆けた日本の職人芸
(株)デンタルフォーラム

「連携の会」についてのご報告

病診連携室室長 外科学分野准教授
園田 英人

2024年11月28日（木）19時より、福岡歯科大学50周年記念講演において「第6回福岡歯科大学医科歯科連携の会」が開催されました。本会には、27の医療機関から48名、当院スタッフを含む総勢104名が参加しました。

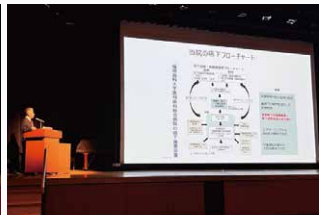
会に先立ち、坂上竜資病院長から開会の辞が述べられました。講演会では、訪問歯科センターの今井裕子准教授から「訪問診療における医科歯科連携」をテーマに、高齢化が進む日本において、訪問診療という形で歯科受診の機会を提供する重要性、訪問診療の具体的な流れ、他院における医科術前口腔ケア介入による肺炎予防効果、さらに口腔機能低下への具体的な対応について説明がありました。

続いて、耳鼻咽喉科の山野貴史教授から「嚥下障害に対する訪問歯科と耳鼻咽喉科の役割」をテーマに、多職種による連携を通じた嚥下機能評価の実践について、動画や具体的な症例を交えながら、分かりやすく解説されました。

講演後に実施した参加者アンケートでは、「当院訪問歯科の活動について初めて知った」「訪問歯科の特徴を理解し、高齢化が進む日本ではますます必要になると感じた」「嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査の重要性を知ることができた」といった感想が寄せられました。一方で、「嚥下機能の予防や嚥下訓練についてもっと詳しく聞きたかった」という声もありました。

講演後は、50周年記念講堂1階のレストラン「TOMATO」において、和やかな雰囲気の中で顔の見える活発な意見交換が行われました。

高齢化社会が進む日本において、福岡歯科大学が掲げる「口腔の健康を通して全身の健康を守る」という口腔医学の理念は、今後ますます重要になると考えられます。地域医療機関との医科歯科連携をさらに強化するためにも、本会を今後も継続していきたいと考えています。



訪問診療における医科歯科連携

訪問歯科センター准教授
今井 裕子

訪問歯科診療は、通院が困難な患者に対し、歯科医師や歯科衛生士が病院、患者宅や施設を訪れ、口腔ケアや歯科治療を行うサービスです。

連携の会では、地域医療の現場において重要性を増している訪問歯科診療と、医科との連携の意義についてお話をさせていただきました。

歯科標榜のない病院では、歯科の診療体制が整備されていないため、患者の口腔ケアや歯科的な治療が十分に行われないことがあります。しかし、全身疾患と口腔の健康は密接に関連しており、患者の全身状態の改善やQOLの向上のため、当科では近隣の急性期病院から慢性期病院まで幅広く連携し、歯科的なサポートを提供しております。

また、在宅療養者や高齢者の健康管理において、訪問歯科と耳鼻咽喉科の連携は、非常に重要な役割を果たし

ます。当科では、関連高齢者施設の入所者をはじめ摂食嚥下障害が疑われる患者に対して、当院摂食嚥下言語センターへご相談・精査を依頼し、結果をもとにリハビリテーションを行い安全な経口摂取を目指す仕組みを構築しております。

このように訪問歯科における医科との連携は、患者中心の医療を実現し、地域包括ケアの理念にも合致いたします。各職種が互いの専門性を生かし、情報共有を密にすることで患者の生活環境や健康状態に応じた包括的なケアが可能となります。さらに当科は大学ならではの専門的な口腔へのアプローチも可能です。

私たちは患者の健康寿命を延ばし、生活をより豊かなものにすることを目指し活動しています。何かございましたらお気軽にご相談ください。

福岡歯科大学医科歯科総合病院では、嚥下診療は摂食嚥下・言語センター（ことばと飲み込みのケアセンター）として院内で統一した対応をとっています。対象症例は、すべて耳鼻咽喉科が窓口となり、基本全例に嚥下内視鏡検査と嚥下造影検査を施行し、その結果をふまえてセンターの他職種と連携して治療をします。関連の高齢者施設（サンシャインシティ、サンシャインプラザ、サンシャインセンター）からの依頼も増加傾向にあり、当院の特徴である病院と施設との連携について述べさせていただきます。

施設より、食事の状態に何か問題があるようであれば、訪問歯科センターの歯科医師や施設常勤の歯科衛生士より連絡があり、嚥下機能評価のために病院受診とな

ります。病院からは、検査結果より、経口摂取の可否、食形態の選択、姿勢調節・リハビリメニューの提示等を施設に依頼します（図1）。さらに、普段の食事の状況を確認するため、病院スタッフの言語聴覚士や、摂食嚥下認定看護師が、訪問歯科のミールラウンドに同席し、食事の状況観察、食事形態や姿勢調整のアドバイスをしています（図2）。この際、入所者の中で嚥下機能検査が必要な症例の掘り起こしもしています。病院と施設との連携は、施設内としては、食事介助の安全性が担保され、経口摂取の継続の判断に有用であり、病院にとっては、施設入所者が入院した場合、早期からの適切な嚥下リハビリテーションの介入や経口摂取再開につながり、どちらにとってもメリットは大きいものと思われます。



図1 病院と高齢者施設との連携



図2 施設でのミールラウンドの様子

健診センターからお口の健康管理について〔第2報〕

がん予防のためのお口の健診のおすすめ

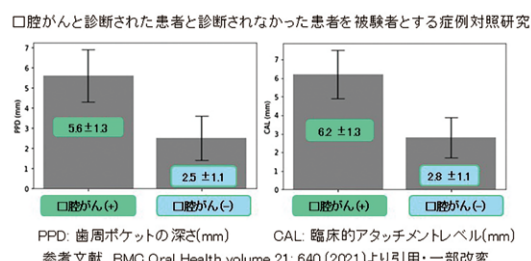
健診センターお口の健康相談室 歯科医師 阿南 壽

「口は万病のもと」といいます。お口の中の細菌（微生物）は種類も多く、体中の臓器と比較して高密度に存在しています。WHO（世界保健機関）の口腔保健報告書（2003年）では、口腔の不衛生により、がんや糖尿病、呼吸器系疾患、循環器系疾患といった全身疾患の発症リスクが高まることが示されています。また近年、歯周炎と口腔がんの関連を示唆する報告が散見されるようになってきました。そこでAIで検索してみますと、「口腔がんを発症した患者さんには深い歯周ポケットと歯根を支える付着の著しい喪失が認められ、口腔がんの発生率と歯周炎の存在および重症度との間に相関関係があることが示されていました。特に、歯周炎が重度の人は注意深く様子をみる」ことが推奨されていました。」

健診センターでは、おからだの健診の際に、歯周病や口内炎などのお口の疾患に関するご相談を受け付けています。

「口腔がん発症のリスク因子がある」と考えられる場合、

粘膜疾患は口腔外科に、重度の歯周炎は歯周病科へ、当院の専門診療科に連絡・コンサルし、問題となる病変の検査や治療を依頼しています。歯周病予防はがん予防にもつながっていきます。また、糖尿病などの生活習慣病のコントロールにも寄与します。歯周炎の重症度を軽減させ、口腔がんのリスクを減らすことは可能です。そのためには、ぜひ地域の皆さんに、「かかりつけの歯科医師」や「かかりつけの歯科衛生士」を持っていただき、お口の清潔さを取り戻すことをおすすめします。



骨粗鬆症はなぜ恐ろしい？

整形外科学分野教授 西尾 淳

日本には約1300万人以上の骨粗鬆症患者がいるといわれており、高齢化に伴ってその数は増加傾向にあります。骨粗鬆症は圧倒的に女性、特に閉経後の女性に多くみられ、女性ホルモンの減少や老化と関わりが深いと考えられています。骨粗鬆症になっても痛みはないのが普通ですが、骨の量（骨量）が低下しており、骨がもろく骨折しやすくなります。中でも特に注意したいのが、背骨（椎体）の圧迫骨折と太もものつけ根（大腿骨近位部）の骨折です。これらの骨折がきっかけとなって要介護状態や寝たきりとなり、健康寿命が短くなるといわれています。

骨粗鬆症の予防において重要なことは、まず第一に、成長期に骨量を十分に増加させて高い最大骨量を獲得することです。次に重要なことは、女性においては閉経後急速に骨量が減少するので、骨粗鬆症検診で自分の骨の状態を知り、骨量のさらなる減少をくい止めることです。

骨粗鬆症の治療時に推奨される食品は、カルシウムを多く含む食品（牛乳・乳製品、小魚、緑黄色野菜、大豆）、ビタミンDを多く含む食品（魚類・きのこ類）、ビタミンKを含む食品（納豆、緑色野菜）です。薬物治療の目的は骨粗鬆症性骨折を予防し、「生活

の質」の維持、向上を目指すことにあります。骨粗鬆症の治療薬は、①骨吸収（古くなった骨を壊す）を抑える薬、②骨形成（新しい骨を作る）を促進する薬、③骨吸収を抑え、骨形成を促進する薬、④骨に必要な成分を補充または骨代謝をサポートする薬の4種類に分けられます。

当院では、骨折しやすい腰の背骨（腰椎）と大腿骨近位部の2ヶ所で骨密度を測定しています（図）。検査時間は約10分程度で、痛みもないため安心して検査を受けていただけます。また当院では、骨粗鬆症治療薬による顎骨壊死を回避するために、治療前に歯科・口腔外科と連携して歯周組織の状態を良好にしておくように心がけています。

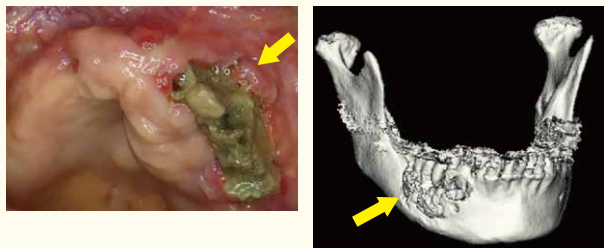


骨量測定装置

歯科医師が悩む骨粗鬆症

口腔科学分野教授 池邊 哲郎

骨粗鬆症のお薬の種類はたくさんありますが、そのうちビスホスホネート（主に内服薬）とデノスマブ（皮下注射薬）の2種類のお薬のどちらかを長期間投与されている患者さんを抜歯したところ、抜歯した部位の歯槽骨が壊死して（腐ること）歯茎から露出してくる病気が2003年に初めて米国で報告されました。それ以後我が国でも報告され、年々増えています。『薬剤関連顎骨壊死』と呼ばれます。



薬剤関連顎骨壊死の頻度は1000人に1～2人ほどの稀な病気ですが、いったん発症すると治りにくく、手術で壊死した骨を切除することになります。原因

は、骨粗鬆症のお薬の影響で、壊死した骨が処理されずにいつまでも残ることと、お口の中の細菌が感染することだと考えられています。特に細菌感染が重要です。この2つのお薬をすでに投与されている方は定期的に歯科医院を受診して口腔清掃状態と顎骨壊死の有無をチェックしてもらうのが大切です。また、これからお薬を初めて服用しはじめる方は、事前に歯科で診てもらって、悪い歯は先に抜歯した方がよいでしょう。このようなことは整形外科医や薬剤師もご存知で、整形外科－薬剤師－歯科が連携して患者さんに対応しています。

大切なことは、お薬の服用を自分で勝手に中止しないことです。急激に骨密度が低下することがあります。また、歯科医院を受診する際は、お薬手帳を持参して服用薬を歯科医師に見せてください。また、デノスマブは注射薬ですのでお薬手帳には書いていませんから、ご自分で歯科医師に申告すると助かります。

日本補綴歯科学会 2024年度九州支部学術大会 市民フォーラム

10月20日、公益社団法人日本補綴歯科学会九州支部会の活動として、福岡歯科大学にて市民フォーラムを開催いたしました。

冠橋義歯学分野教授 松浦 尚志

テーマ

『保険でできる白い被せもの ～CAD/CAM冠について理解しよう!』

座長 山口雄一郎(福歯大) 講師 加我公行(福歯大)

歯科で使う被せ物は、伝統的に金属を使った銀歯や金歯が用いられてきました。また、白い被せ物を入れようすると、セラミックの歯となり、高額な治療費がかかるというイメージを持たれているかもしれません。近年では高い強度を持つ金属以外の素材が開発されており、しかも保険が適用されるものもあります。それらを多くの市民の方に広く知っていただくために、「保険でできる白い被せ物」と題して市民フォーラムを開催いたしました。

講演では、金属の被せ物を白い素材に交換した症例をお示し、「強度は十分なのか?」「外れる心配はないのか?」等のよくある質問に答える形で進行

しました。金属は強度が高く、歯に対する接着に関しても信頼できる臨床手技が確立されていますが、世情による物価の高騰や金属アレルギーを持つ方もおられることから、金属に代わる素材の開発は多くの患者さんにとって福音となると思います。今回の市民フォーラムは多くの市民の方々に最新情報をお伝えする良い機会となりました。



メディア掲載 九州初の専門外来 西日本新聞の一面トップで取り上げられました。(2024/11/5)

「こどもの食事サポート外来」のご案内

小児科学分野助教 一宮 優子

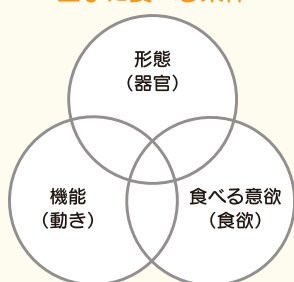
偏食や少食など、子どもの食事に関する悩みを抱える保護者は少なくありません。こうした問題は身の回りでもよく耳にするため、病気とは捉えられず、病院で相談してみようと思う方は多くないかもしれません。しかし、偏食や少食が続く子どもの中には、栄養不足が原因で、成長に影響が及んだり、深刻な病気になったりする子がいます。また咀嚼・嚥下機能が十分に発達せず、むせや窒息のリスクが高まるお子さんがいるのも事実です。

当院小児科では「こどもの食事サポート外来」として、こうした様々な食に関する困りごとに対応する取り組みを始めました。歯やのどの構造、咀嚼し嚥下する機能、神経発達などの面から総合的に診察し、うまく食べられない原因を探ります。「離乳食が

育児書通りに進められないがどうしたら良いか」「同じもののばかり食べているが身体に影響はないか」「どのように食事を提供し、声を掛ければもっと食べられるようになるか」といった悩みについて一緒に考え、医学的なアドバイスをしています。通っている患者さんからは、「子どもが自分から積極的に食べられるようになった」「食べられる食品の種類が増えた」「給食を皆と食べられるようになった」といった声も聞かれています。

お子さん自身が、成長し、健康に生きていくために必要な「食べる力」を身につけることはとても大切なことです。ご興味のある方は一度小児科のホームページをご覧ください、小児科外来までお問い合わせいただければ幸いです。

上手に食べる条件



子どもが上手に食べるようになる条件として歯列や舌の「形態」、摂食や嚥下の「機能」、そして「食べる意欲」があります。

これらは相互に関連しており「食べる意欲」に偏りがあると、食べる機能の獲得や、歯列の成長にも影響を及ぼすこともあります。

こどもの食事の問診票

お父さんはあなたにお腹が空いたことを知らせますか	いいえ	はい
お父さんはあなたから見て十分量を飲んだり食べたりしますか	いいえ	はい
お父さんに飲んだり食べたりさせるのにどのくらい時間がかかりますか	5分以内/ 30分以上	5～ 30分
お父さんに飲んだり食べたりさせるのに何か特別なこと (例:おもちゃ、テレビ、ビデオ、YouTubeを見せる)をしますか	はい	いいえ
お父さんはあなたにお腹いっぱいだと知らせますか	いいえ	はい
上記の質問に答えて、あなたはお子さんの食事について心配がありますか	はい	いいえ
左の列の合計チェック数が2項目以上ある場合、 病院受診を考慮する目安になります		合計チェック数

令和6年度 医科外来担当医表

内 科	月	火	水	木	金	土
午 前	非常勤/大星/田中	大星/北村	田中	於久/大星	北村/於久/大星	1北村 2田中
午 後 ()内は応援	北村/(於久)	於久	非常勤/(北村)	田中/(大星)	当番医/(田中)	3 4於久 5大星

※金曜午後の当番医は土曜と同じ

呼吸・循環器科	月	火	水	木	金	土
午 前	松元		松元/得能			
午 後			樗木			

健診センター	月	火	水	木	金	土
午 前	山本<非常勤>	得能	樗木	松元	竹本<非常勤>	無し
午 後	得能(樗木)	樗木(得能)	得能(樗木)	樗木(松元)	樗木(得能)	

外科・内視鏡センター	月	火	水	木	金	土
午 前	園田/吉賀/田中/泉	(手術日)当番医	吉賀/田中/宮崎/泉	園田/田中/吉賀	吉賀/田中/宮崎/泉	1泉 2宮崎
午 後 (一般外科)	園田/吉賀/田中/泉		(手術日)当番医	園田/田中/吉賀	吉賀/田中/宮崎/泉	3田中 4吉賀
午 後 (乳腺/肛門)			渋谷			5田中

心療内科	月	火	水	木	金	土
午 前 (完全予約制)	田中		金光		金光	当番医
午 後 (完全予約制)	金光	田中		田中	田中	

耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金	土
午 前	山野(新患)/木村	山野(新患)	非常勤(新患)	木村(新患)	非常勤(新患)	2.4週 山野
午 後	木村(新患)/山野	山野(新患)	木村or山野(新患)	木村(新患)	木村or山野(新患)	1.3.5週 木村

※山野Drは外来診療担当日以外でも対応可能なことがあります(研修日を除く。要確認)

形成外科・美容外科	月	火	水	木	金	土
午前・午後 (完全予約制)	萩家	萩家	萩家	萩家	萩家	再診のみ

皮膚科	月	火	水	木	金	土
午 前	吉田/伊地知	伊地知/古村	吉田/伊地知	伊地知/古村	古村/吉田	古村
午 後	吉田/伊地知*	伊地知	吉田/伊地知	手術日	古村/吉田	

*パッチテスト優先

眼 科	月	火	水	木	金	土
午 前	大島/高木/姫野	大島/高木/姫野/平田	大島/高木/姫野/平田	高木/姫野/平田	大島/高木/姫野/平田	当番医
午 後	高木/平田	手術日	高木/姫野/平田	手術日	高木/姫野/平田	

小児科	月	火	水	木	金	土
一般(午前)	一宮	大賀	一宮	宮内	一宮	当番医
午後 (予防接種)(予約制)				宮内	岡田	
午後 (神経・発達)(予約制)	鳥巢/一宮	鳥巢/一宮	鳥巢/一宮	鳥巢	鳥巢/一宮	

整形外科	月	火	水	木	金	土
午 前	千々岩/篠原	西尾/篠原	西尾/千々岩	千々岩/篠原	手術日	当番医
午 後 (予約制)	西尾	篠原	千々岩	篠原		

令和6年度 歯科外来初診担当医表

総合歯科・高齢者歯科	月	火	水	木	金	土
午 前	山田	畠山	島津	益崎	口腔医療センター	口腔医療センター
午 後	総合ローテーション	高齢者・保健・訪問 ローテーション	山本	吉田	口腔医療センター	

保存科・歯周病科	月	火	水	木	金	土
午 前	松本(和)・水上	丸尾	大和	松本(和)・水上	当番医	当番医
午 後	吉永	松本(典)	廣瀬	大城	当番医	

補綴科	月	火	水	木	金	土
午 前	加我	高江洲	前芝	宮園	谷口	当番医
午 後	濱中	山口	吉田	柴口	北條(西村)	

口腔インプラント科	月	火	水	木	金	土
午 前	城戸・加倉					当番医
午 後						

口腔外科	月	火	水	木	金	土
午 前	横尾	勝俣	吉住	橋本	1.3.5週 吉住	当番医
午 後	(勝俣)	(吉住)	(橋本)	(横尾)	2.4週 勝俣	

矯正歯科	月	火	水	木	金	土
午 前	阿部・梶原・石井・中嶋・國見・竹崎					当番医
午 後						

小児歯科	月	火	水	木	金	土
午 前	三輪	一瀬・姫野	中野・中嶋	幡地・岩橋	田平	当番医
午 後						

障害者歯科	月	火	水	木	金	土
午 前	森田・天野・田崎・尾崎・松尾・薬師寺					当番医
午 後						

口腔放射線診断科	月	火	水	木	金	土
午 前	筑井	香川	筑井	香川	筑井	当番医
午 後	筑井	香川	筑井	香川	筑井	

口腔医療センター	月	火	水	木	金	土
午 前	泉・古賀・金子				当番医	当番医
午 後					当番医	

患者の皆様の権利

- 1 個人の尊厳を尊重され、良質な医療を公平に安心して受ける権利があります。
- 2 病気や診療内容について納得できる十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3 十分な説明と情報提供を受けた上で治療方法などを自らの意思で選択・決定する権利があります。
- 4 診療における個人情報の秘密が守られ、プライバシーが保護される権利があります。
- 5 ご自身の診療録の開示を求める権利があります。

患者の皆様へのお願い

- 1 良質な医療の提供を受けるためには、ご自身の健康に関する情報を正確に提供いただく必要があります。
- 2 納得のいく医療の提供を受けるためには、医療に関する情報と説明について十分理解できるまでお尋ねください。
- 3 すべての方が等しく適切な医療を受けるために、患者の皆様には他の方や病院職員に支障を与えないようご配慮くださいますようお願いいたします。

第51回福岡歯科大学学会総会・学術大会を終えて

大会長 口腔インプラント学分野教授
城戸 寛史

2024年12月15日(日)に第51回福岡歯科大学学会総会・学術大会を福岡歯科大学50周年記念講堂で開催しました。本大会では、特別講演に航空自衛隊ブルーインパルス飛行隊長の江尻 卓二等空佐をお迎えし、航空自衛隊の日常勤務やチームワークの重要性についてご講演頂きました。江尻隊長のお話は、歯科医療における組織の協力体制や、連携を図るためのヒントを多く含んでおり、私たちの医療現場に貴重な示唆を与えて頂きました。

シンポジウムでは「デジタル医療の到達点と未来」をテーマに、デジタル技術が歯科医療にもたらす変革と今後の展望について各分野のエキスパートによるディスカッションが行われました。口腔外科学分野の横尾嘉宣先生、口腔インプラント学分野の加倉加恵先生、中央技工室の一志恒太先生、北海道

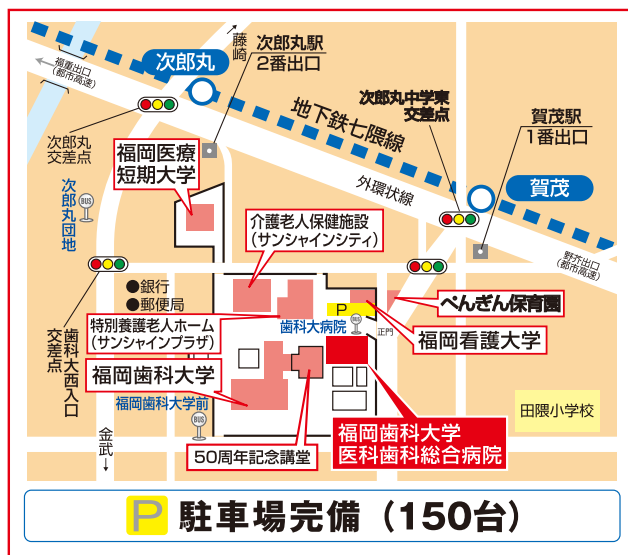
大学病院の道田共博先生らに、臨床現場での実際的な課題や新しいデジタルツールの活用方法について多角的に議論して頂きました。このシンポジウムを通じて今後の医療におけるデジタル化の可能性と課題を再確認し、さらに発展するための道筋について理解することができました。

さらに、一般公演とポスター発表も行われ、日々の研究成果を発表し、相互に学びを深める貴重な場となりました。

この学術大会で得た知識を今後の診療に生かし、福岡歯科大学医科歯科総合病院のさらなるレベルアップにつなげていきます。



交通のご案内



診療時間	平日: 9:00~18:00	土曜日: 9:00~13:00
受付時間	平日: 8:30~11:30	土曜日: 8:30~11:30
	12:30~17:00	
	※新患・予約外は15:00まで、口腔外科の新患は午前中のみ	
予約の変更受付時間	平日: 13:30~16:30	
休診日	日曜日・祝日・年末年始	
面会時間	平日: 13:00~20:00	休 日: 10:00~20:00

編集後記

本号が出るのは一番寒い時節ですが、温暖化の中で今年はどこまで寒くなっているのでしょうか。さて今回は、本病院が目標とする「お口を通して全身の健康を守る口腔医学」の実践に向けて、より良い義歯を提供するお話に始まり、訪問診療という「つながり」において歯科と耳鼻科が「連携」して嚥下機能の回復を目指していること、がん予防や骨粗鬆症予防のためには医科と歯科との「連携」がとても重要であることなどが、当院の幅広いスタッフによって分かりやすく語られたのではと思います。福岡歯科大学学会大会のご報告も頂きました。新しいCAD/CAM冠の紹介や、「こどもの食事サポート外来」についてのご案内も、皆様の有用な情報としてお役に立てれば幸いです。

サービスマナー委員会委員 心療内科学分野教授 金光 芳郎